

鎌倉途上

折戰沈沙復幾年。盛衰今日共如烟。我來立馬漁村路。古樹殘山草自芊。

繪島雜興

金鰲頭上古樓居。屬目雲濤俗慮除。唯恨隣房殺風景。僧夫使酒炎殘蔬。

香亭曰余好旅游亦厭遭此厄

晴好雨奇人競參。况容天女待狂愁。可憐姊妹解漁語。勸客購歸魚一籃。

香亭曰二首好竹枝

歸家

洗俗塵來入市塵。湖山湘水舊緣因。歸家始喜吟路健。遮莫囊中貧更貧。

香亭曰泗水兄常讀隨書中不得一日閑余與之相識十年未嘗聞其言詩客感兄疾歎旬差後游于相州語勝地忽有此使吾輩雖若平後其詩之溫雅雖出天性安得無素養而能如此乎唯吾輩有目不知荆璧是可甚愧也

土屋 鳳 洲 弘
曾在董庭護兒狗。慈仁知汝近人情。殷勤喚覺青衿

破曉晴々徹耳清。

依田學海評、韓文故事、用得新新。
信夫怨軒評、婉麗精巧、所謂詩正而趣、宜爲長蘊小傳讀、敬

福耳といはれし宵や時鳥 遠 江 十 湖

人々の來訪を得て

ほど、さす聞や旬をねる人を友
老にけり初裕にも据り斂
植る田の水見廻るや主ふり
雪花はものは月にはほど、さす
はつ松魚市のもの皆古ひけり

○

姨捨や月なき空を不如飯 在 遠 五 風
動きやむ雲を抜出て夏の月

○

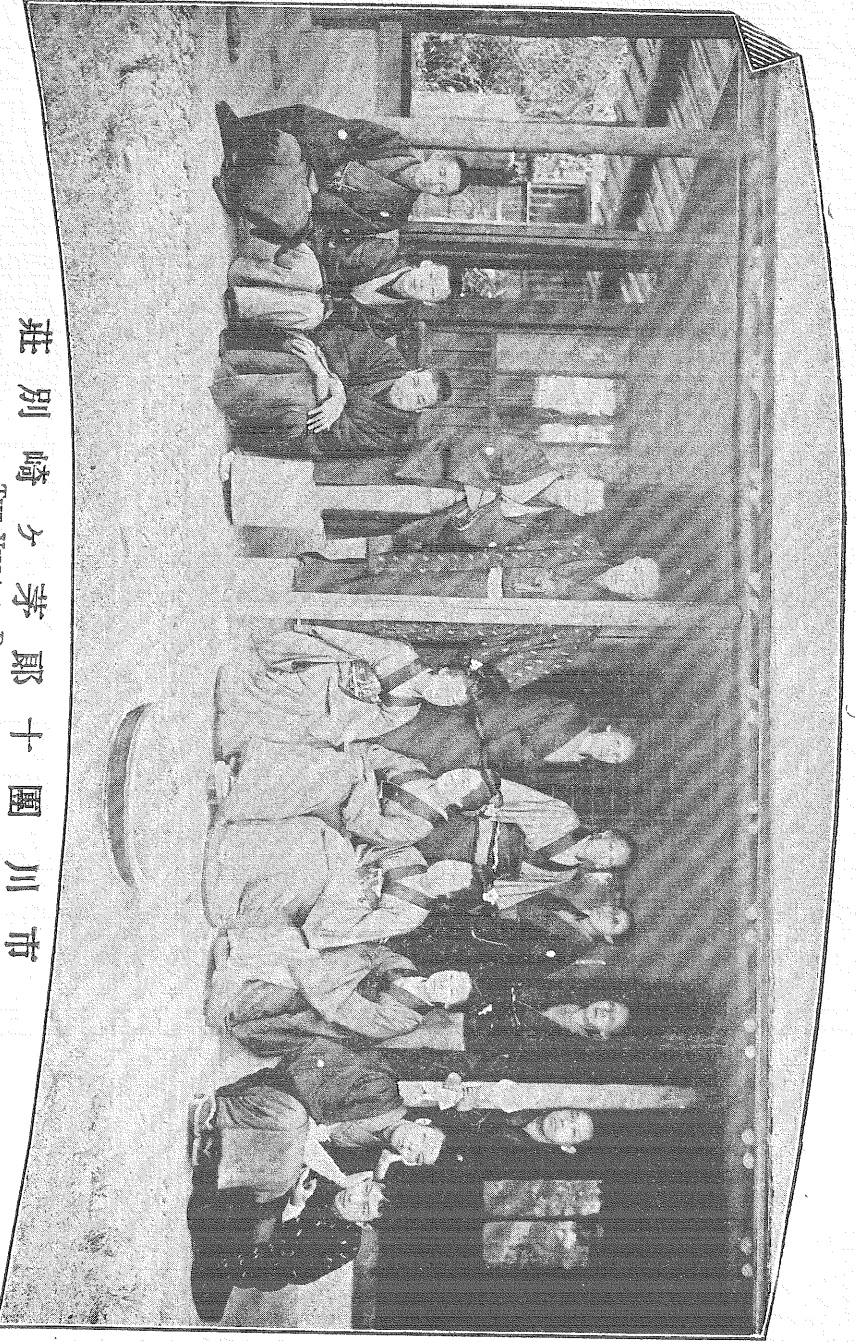
まつかりとまた葉くみなり杜若 甲 府 倍 之
おどろへや胴着は脱す初裕

○

郭公なくや工藤か假屋わと 在 遠 五 風
地に足のつかぬはしりや松魚賣

富士川下舟

十八里青葉の中や下りふね
船に居て見るや青葉の中の瀧



大橋之和彦

莊別崎ヶ茅郎十團川市
THE VILLA OF DANJURO, ACTOR.

柱に倚りて斜に立つは市川團十郎
其前に直立するは中村福助